

農林水産委員会 県内所管事務調査の概要 (令和2年7月豪雨災害に係る被災地現地調査)

【令和2年11月10日（火）】

◆調査箇所：ヤマメ養殖場（九重町野上）

＜概要＞

ヤマメ養殖場では、土石流により、水源に通じる橋の基礎部分の崩壊や取水管の詰まり、養殖施設下の護岸や河床の空洞化などが発生した。

＜主な質疑等＞

- ・ヤマメの被害状況について
- ・施設の復旧状況について



◆調査箇所：菌床椎茸栽培ハウス（九重町菅原）

＜概要＞

ハウス西側斜面が崩壊したことにより、ハウス、倉庫が土砂で埋没した。また、河川の氾濫により、ハウス内の菌床ブロックが流出した。

＜主な質疑等＞

- ・菌床椎茸の被害状況について
- ・施設の復旧状況について



◆調査箇所：トマト圃場（九重町菅原）

＜概要＞

隣接する河川の氾濫と山間部の土砂流出で土砂が堆積した。また、共同水路が塞がり、灌水用の水がストップした。

＜主な質疑等＞

- ・トマトの被害状況について
- ・施設の復旧状況について



◆調査箇所：水田（玖珠町戸畑）

＜概要＞

玖珠川の氾濫により、水田23ヘクタールに土砂が流入した。河川側の農地復旧は、河川復旧後となるため、次期作は困難な状況にある。

＜主な質疑等＞

- ・水稻の被害状況について
- ・水田の復旧状況について



【令和2年11月11日（水）】

◆調査箇所：日田市森林組合（日田市庄手）

＜概要＞

河川氾濫による浸水により丸太の選木機、ユニット、ダンプトラックが故障し、近隣の水田にも丸太が流出した。

＜主な質疑等＞

- ・被害状況について
- ・施設等の復旧状況について



◆調査箇所：阿蘇野地域（由布市庄内町）

＜概要＞

山腹崩壊を起因とした土石流により、治山施設の損壊、県道や農地・用水路への土砂及び流木の流入が発生した。

＜主な質疑等＞

- ・被害状況について
- ・施設等の復旧状況について



◆調査箇所：元治水井路（由布市庄内町）

＜概要＞

農業用水路が崩壊し、水路橋が流出。別府市4万6千世帯の水道水として、また、企業局の発電用水にも利用されており、視察当時は、仮設水路を整備し、通水対応していた。

＜主な質疑等＞

- ・被害状況について
- ・施設等の復旧状況について

